

【複本館長からのメッセージ】

ついこの前まではお正月気分だったのに、あつと言う間にひな祭り！先週は春一番も吹き荒れ、あつと言う間に春の装い。加えて、花粉舞い、鼻がグズグズ、鼻水たら〜！あまりうれしくない春のお知らせもあります。良いも悪いも春が来たのです。「夢の島の春」と言えば、暖かく湿度たっぷりの熱帯植物館で、熱帯の花と食事をお楽しみいただくことです。この時期は、翡翠色の花「ヒスイカズラ」、直接幹に実のなる「カカオ」、真っ赤な実をつけた「コーヒー」、星型の実をつけた「スターフルーツ」等、色や形で目を惹くものが増えてまいります。ぜひ春の訪れを、熱帯植物館で感じてみてはいかがでしょうか。

〜復興支援ご協力のお礼〜

東日本大震災から今年で6年が経ちました。あの日を忘れないために、今年も「花を届ける夢の折り鶴プロジェクト」を行い、そして続けて参ります。この一年ご協力いただいた多くの来館者や関係者の方に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

これからも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

館長



季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

3月のイベントは、おなじみの「クイズラリー」。当館で保有している植物などを題材に、館内に散りばめられたクイズを「探して」「解いて」「植物を観て」回ります・全問正解者には賞品も当たります。また3月12日までは「プロカメラマンのミニ作品展」も開催。フォトグラファーとフラワーアーティストがコラボレーションした「新しいお花のせかい」を見つけられます。3月は楽しみながら学べるチャンスです。ご来館お待ちしております。

【3月のイベント】

「夢の島クイズラリー」(2/28〜3/26)

「増田茂ミニ作品展」(2/28〜3/12)

※関連イベント「デジカメ&スマホ写真講座」(3/5)「夢の島フォトコンテスト」(3/12)

「ウィークエンドコンサート」(3/4、18)「ハーブの学校」(3/5)「森の学校」(3/11)

「手作りクラフト教室」(3/12)「大人のためのフラワーアレンジ教室」(3/26)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館までお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

ミラクルフルーツは、西アフリカ原産の常緑樹です。木の生長は遅いのですが、高さは4メートルくらいになります。植物名の由来となっている、この果実自体は甘くもおいしくありません。ですが、食べてからしばらくすると、その次に食べたものの味の感じ方が変化するので、レモンなどのすっぱいものが甘く感じるようになります。これは果実にミラクリンという物質が含まれていて、舌の味を感じる部分(味蕾)を刺激するからです。ミラクリンの存在を発見したのは故・栗原良枝教授で、日本での栽培方法の確立にも貢献されたそうです。

果実は2センチほどと小さく、熟すと赤くなり、つやつやとした光沢があつてきれいです。また次々咲く黄白色の花も、大きさ0.5ミリと小さくほとんど目立ちません。風鈴のようになっている蕾から雌しべを突き出し、すそが開いたような形になると満開のようです。じつは、この花はとても香りが良く、バニラのように濃厚な甘い香りがします。その香りで小さい花が開いたことに気付かされます。ただ、香るのは朝のまだ館内でも人が動き出す前の時間帯がほとんどです。それ以外では、鼻を近づけて嗅いでみてようやく香りを知ることが多いようです。現在は、大温室ドームやイベントホールなど数カ所に展示しています。



▲ ミラクルフルーツ (アカテツ科)

花 ▶



今月の花と実



▲ ヒスイカズラ



▲ ボリジ



▲ カロライナジャスミン

♪ この時期の人気者 ♪

大温室の大注目目は、何といても「ヒスイカズラ」。色彩の鮮やかさと、形状の豪華さは思わず息をのむ美しさです。そして屋外のあちこちにも春が来ています。ハーブ園では、全身に毛をまとわせた「ボリジ」が星型の真っ青な花を咲かせています。フェンス沿いにはひととき明るい花色の「カロライナジャスミン」。 「ハーデンベルキア」は、近くで見ると胡蝶蘭にそっくり！

【券一七入券】団体不可
コーヒー一杯無料
3/1~3/31